

山口県ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画（概要）

1 基本的事項

- (1) 計画の対象
県内の PCB 特措法第 2 条第 1 項に規定する PCB 廃棄物
- (2) 計画期間
2009（平成 21）年 4 月から 2027（令和 9）年 3 月まで
- (3) 処分期間等
 - ① 高濃度 PCB 廃棄物

事業名	高濃度 PCB 廃棄物の種類	計画的処理完了期限	事業終了準備期間
北九州	大型変圧器・コンデンサー等	2019（平成 31）年 3 月 31 日	2019（平成 31）年 4 月 1 日から 2022（令和 4）年 3 月 31 日まで
	安定器・汚染物等	2022（令和 4）年 3 月 31 日	2022（令和 4）年 4 月 1 日から 2024（令和 6）年 3 月 31 日まで
大阪	大型変圧器・コンデンサー等	2022（令和 4）年 3 月 31 日	2022（令和 4）年 4 月 1 日から 2025（令和 7）年 3 月 31 日まで
豊田	大型変圧器・コンデンサー等	2023（令和 5）年 3 月 31 日	2023（令和 5）年 4 月 1 日から 2026（令和 8）年 3 月 31 日まで

- ② 低濃度 PCB 廃棄物
処分期間：2027（令和 9）年 3 月 31 日まで
- (4) 計画の見直し
国の計画見直しや処理体制の状況等を勘案し、必要に応じ実施

2 PCB 廃棄物の保管量、発生量及び処分見込量（2021（令和 3）年 3 月 31 日現在）

種 類	保管量(A)		発生量(B)		処分見込量(A+B)	
	高濃度	低濃度	高濃度	低濃度	高濃度	低濃度
変圧器（トランス）	3台	671台		1,306台	3台	1977台
コンデンサー（3kg以上）	51台	340台		91台	51台	431台
コンデンサー（3kg未満）	911台	2732台		63台	911台	2795台
柱上変圧器		38台		3台		41台
安定器	519台	34台	98台	10台	617台	44台
PCBを含む廃油		2,132.43kg		1.24kg		2133.67kg
OFケーブル		2,637kg		1kg		2,638kg
その他の機器	2台	142台		145台	2台	287台
感圧複写紙						
ウエス	3.54kg	274.66kg			3.54kg	274.66kg
汚泥		115,300kg				115,300kg
塗膜		23,546.52kg		192.6kg		23739.12kg
その他	803.68kg	40,398.71kg		2,766.55kg	803.68kg	43165.26kg

3 PCB 廃棄物の確実かつ適正な処理体制の確保

- 計画的処理完了期限を徒過して保管されている高濃度 PCB 廃棄物のうち、大型変圧器・コンデンサー等は JESCO 大阪事業所及び豊田事業所において処理、安定器・汚染物等は JESCO 北九州事業所において事業終了準備期間中も処理を継続
- 低濃度 PCB 廃棄物は、国の無害化処理認定施設等において処理
- 県は、安全かつ効率的な処理施設への収集運搬・搬入、処理施設での円滑な処理のための広域調整協議会等における必要な調整を実施

4 PCB 廃棄物の適正処理の推進方策

各々の役割分担に基づき、協力・連携して、PCB 廃棄物の処理を推進（県）

- PCB 廃棄物の網羅的把握（未処理事業者の一覧表作成）及び必要な指導
- 保管事業者、所有事業者に対し、早期処理完了に向けた監視指導の徹底
- PCB 廃棄物処理基金への拠出、早期処理に向けた支援（濃度分析費用の補助）
- （保管、所有事業者）
 - 適正保管・管理、保管状況等届出、処分期間内の確実・適正処理
- （収集運搬業者）
 - 関係法令、国が定めたガイドラインの遵守、適正・安全な収集運搬
- （処分業者）
 - 関係法令遵守、期限内の確実かつ適正な処理